

# やるで！大阪さくらねこTNRプロジェクト

## H29実施報告書

### さくらねこ TNR



公益財団法人どうぶつ基金

大阪ねこの会

平成29年度

# やるで！大阪さくらねこTNRプロジェクト

## 目的

本事業は、猫の不妊手術による殺処分ゼロ実現を目的とする

## 連携事業

どうぶつ基金と大阪ねこの会は、次の事業を連携して実施する。

- (1) 猫の不妊手術
- (2) 上記に伴う獣医療 ※「さくら耳カット」は不妊手術を行う際に必須とする。

## 役割分担

本事業における各契約者の役割及び費用分担は次のとおりとする。

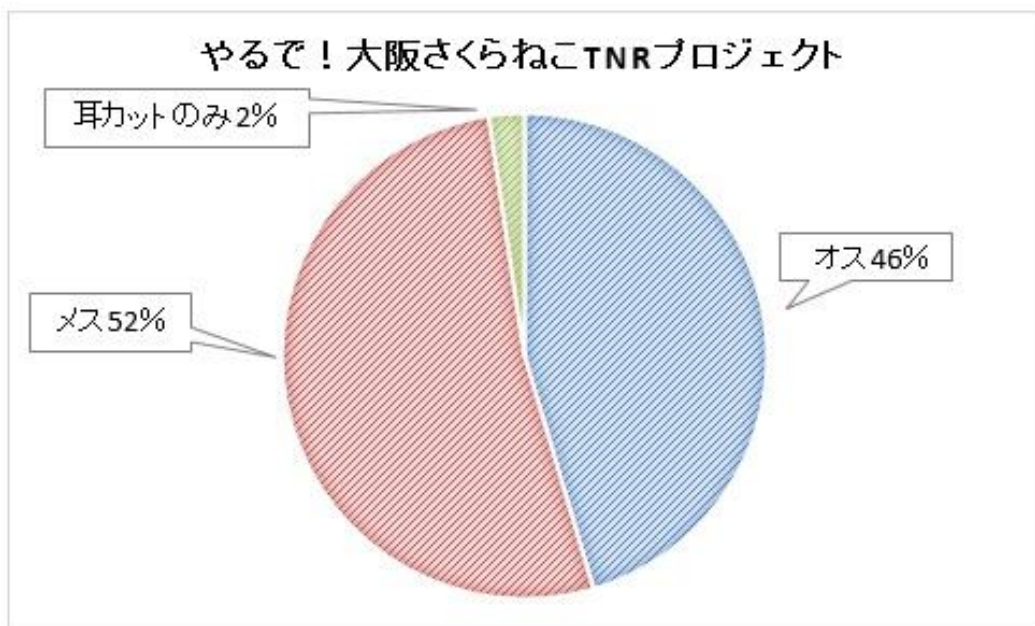
- 1、公益財団法人どうぶつ基金  
ねこの不妊手術、さくら耳カット、ワクチン、ノミダニ駆除薬費用の全額支払い
- 2、大阪ねこの会  
上記以外のあらゆる業務とそれにかかる費用
- 3、本事業の広報は契約者全員で積極的に行うよう努める



# 手術数

	オス	メス	耳カットのみ	計
第1回	83	74	13	170
第2回	82	102	2	186
第3回	81	110	5	196
第4回	88	109	5	202
第5回	台風の為中止			0
第6回	79	94	3	176
第7回	82	106	2	190
第8回	92	86	2	180
第9回	80	77	4	161
第10回	97	102	4	203
第11回	82	113	4	199
計	846	973	44	1863

\* 耳カットのみ:既に不妊手術済であった猫に手術済みのしるしとして耳カットを施した。



# ボランティア数

## ボランティア数

	日付	設営準備	獣医送迎	会場手伝い	会場後片付け	計
第1回	4/15、16	4	2	35	5	46
第2回	5/21、22	4	2	35	5	46
第3回	6/18、19	4	2	35	5	46
第4回	7/16、17	4	2	37	5	48
第5回	台風の為中止	0	0	0	0	0
第6回	10/8、9	4	2	40	5	51
第7回	11/19、20	4	2	29	5	40
第8回	12/17、18	4	2	31	5	42
第9回	1/21、22	4	2	32	5	43
第10回	2/11、12	4	2	30	5	41
第11回	3/17、18	4	2	40	5	51
計		40	20	344	50	454

## 大阪ねこの会管理ボランティア

公益財団法人  
どうぶつ基金

費用負担

避妊・去勢手術  
耳先カット(さくら耳)  
ワクチン  
ノミ除け薬

大阪ねこの会

地元のノラ猫の調査及び猫の捕獲

出張手術会場の運営(月/1回予定)・広報

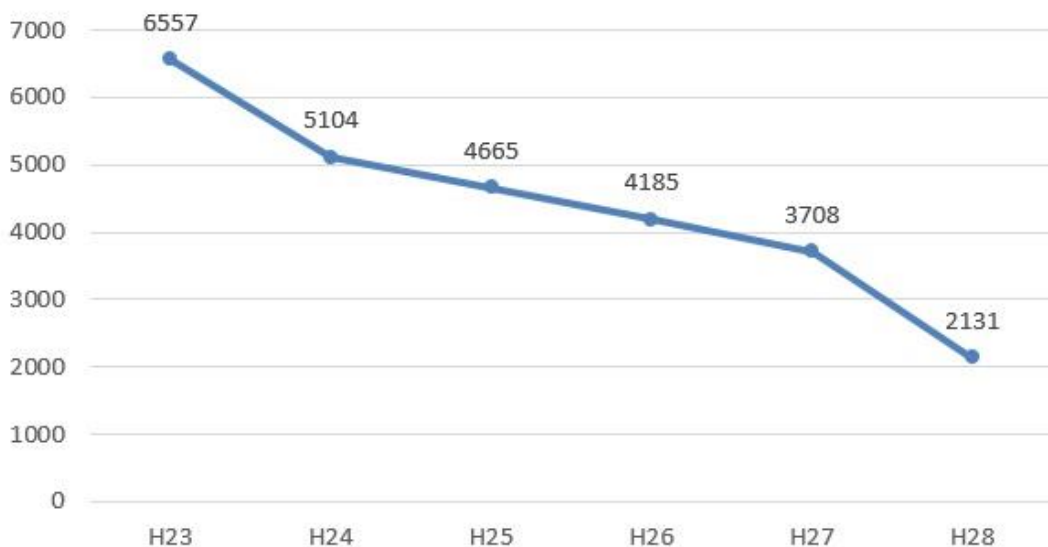
毎月、参加猫を募集(詳しくはホームページ)

# 大阪府下における猫の殺処分

平成28年度大阪殺処分数



大阪府殺処分数



# 詳細 報告

➤会場: やお駐輪3階(八尾市北本町2-4-10)

➤開催: 11回

➤募集: 毎月10日～15日

➤手術総数: 1863匹

➤ボランティア総数: 454人

➤参加資格・条件

①猫を捕獲できること

②会場まで搬送ができること。

③手術後、1日猫を安静に置ける場所があること。

④手術同意書に署名すること。

⑤墮胎処置の場合、持ち帰ること。

⑥参加猫に耳カットをすることに同意すること。

⑦絶対にこの件に関して金銭のやり取りをしないこと。

## 詳細 報告

### 実績・成果や社会的な影響・意義 大阪ねこの会

2年間無料手術で大変お世話になりました。

大阪は殺処分数ワースト1でしたが

この2年間やるで大阪の無料不妊手術＋無料チケットにより不妊去勢手術が推進され

2016年度やるで！ 1,891頭＋無料チケット4,919頭

2017年度やるで！ 1,863頭＋無料チケット3,827頭

合計8,746頭ものさくらねこが誕生しました。

これによって大阪市の所有者不明猫の收容数、殺処分数ともに大幅に減少し、もともと毎年2,000～3,000頭あった收容数が速報によりますと（速報ですので若干の数字訂正があるかもしれませんが）今年度は1,000頭切る勢いです。

また、このプロジェクトにより当会の知名度も上がり、ボランティア同士のネットワークも広がり助け合うことができるようになりました。

そして、猫問題に困っている町会などからも相談が増え、TNRや不妊去勢手術の説明に行くことも増えてきています。

猫を排除することで問題解決をするのではなく、不妊去勢手術によって数をコントロールしながら問題を少なくし、猫と共存していくという取り組みが社会的にも広がってきました。

これは、猫問題に限らず教育的にも地域のつながり的にも問題解決に対して人間の英知を駆使するというを示すことは、他の問題をも解決できる可能性があることを明らかにしてたと考えます。

大阪ねこの会 荒井 りか

殺処分ゼロを目指して！



公益財団法人どうぶつ基金

大阪ねこの会